

# 公益財団法人日本骨髄バンク 臨時理事会 議事録

1 日 時 2026年(令和8年)1月16日(金) 17時10分から17時40分

2 開催方法 WEB会議(本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た)

3 定 足 数 理事現在数11名中、出席8名

(1)出席理事：8名(以下、敬称略)

岡本 真一郎(理事長)、佐藤 敏信(副理事長)、日野 雅之(副理事長)、  
石丸 文彦(理事)、大西 達人(理事)、瀬戸 愛花(理事)、高橋 聡(理事)、  
橋本 明子(理事)

注)定款第46条に規定する理事現在数の過半数を充足し、本理事会は成立した。

(2)欠席理事：3名

浅野 史郎(業務執行理事)、鈴木 利治(理事)、福田 隆浩(理事)

(3)出席監事：2名

岩崎 裕彦(監事)、杳沢 一晃(監事)

(4)陪 席 者：4名

細川 亜希子(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐)

高波 直樹(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室係長)

栗和田 統眞(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室)

古館 賢一(日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課参事)

(5)事 務 局：5名

小川 みどり(事務局長兼ドナーコーディネート部長兼医療情報部長)

田中 正太郎(総務部長)、関 由夏(移植調整部長)、水口 詞代(広報渉外部長)、

荒井 茂(総務部TL)

4 開 会

岡本理事長が臨時理事会の開会を宣言した。理事会運営規則第3条に基づき、事務局の出席が認められた。

5 議事録署名人の選出

定款第51条第2項により出席した理事長及び監事が議事録の署名にあたりとされた。

[ 議 事 ]

6 審議事項

第1号議案：地区事務局統合に伴う組織規程、給与規程、会計規則の改正案について

第2号議案：家族署名WGの結果と今後のスケジュールについて

## 7 報告事項

- (1) 寄付金報告
- (2) 採取件数・患者登録数報告
- (3) 調整医師新規申請・承認の報告
- (4) その他

## 8 審議事項の経過概要と結果(敬称略)

### (1) 第1号議案：地区事務局統合に伴う組織規程、給与規程、会計規則の改正案について

… 田中総務部長

本年3月9日から、東日本地区事務局、西日本地区事務局が正式稼働予定であり、これに合わせて各種規程の改正を行いたい。

組織規程別表に地区事務局の位置及び名称を定めているが、現在の7拠点を、東日本と西日本の2拠点とし、管轄区域及び所在地を修正。現在の北海道・東北・関東各事務局の担当区域を東日本地区事務局、中部・近畿・中四国・九州各事務局の担当区域を西日本地区事務局としている。中部管轄の静岡県だけ東日本地区に入れている。

給与規程についても別表の改正となる。別表1職務職給表について、これまで5級に地区代表A(関東地区事務局の代表)、4級に地区代表B(関東以外の地区代表)を位置付けていた。統合により東日本、西日本とも規模の大きい地区となることから、地区代表Bをなくし、5級の地区代表へ一本化した。また4級に、関東地区事務局のみに設置していた地区副代表について、統合に伴い両地区事務局に設置するため、「関東」という文言を外している。これに合わせ、別表2役職手当の支給割合の職務名について、前記修正に合わせて修正をした。

会計処理規則について、第15条(出納責任者)に、地区事務局の括弧書きとして7ヶ所の地区名が記載されていたものを、東日本と西日本の2ヶ所に修正した。

地区代表、地区副代表の設置及び処遇に関する内規について、関東以外の地区については、副代表を置かず地区代表代理という職務を置くことができるよう定められていたが、今後は両地区事務局に地区副代表を置くことができるようになるため、地区代表代理を廃止したい。

以上4つについて、すべて統合の稼働開始日である3月9日付での施行としている。

審議の結果、第1号議案は全会一致で可決承認された。

### (2) 第2号議案：家族署名WGの結果と今後のスケジュールについて … 小川事務局長

12月24日にドナー家族同意(署名)に関する検討会議(WG)を開催した。

家族同意署名は、前処置開始後に家族が反対して提供中止となる患者へのリスク等を少しでも減らすために設けられた。家族同意の本来の目的は、ドナーが理解した上で提供に同意していることを家族として見届けるということだが、ドナーも家族も「同意」という言葉を使っているため、家族もドナーと同じレベルで理解した上で家族が同意する、といった混乱が生じている。

WGでは、ドナーが術前健診を受けた後に、家族が反対していることが判明し撤回することになると、患者に大きな影響があるので、これをできる限りなくすことを踏まえ議論いただいた。

### <方針案>

- ・「ドナーが提供に同意している」ことについて、「家族が理解し了解している」ことを骨髄バンクがきちんと確認をする
- ・ドナーは説明を受けたうえで自分の意思で提供することに同意し、家族は心配する立場で理解そして了解した、ということを確認する
- ・家族署名は廃止の方向で検討
- ・家族には、仮に署名を廃止しても「家族立会人」として面談に参加してもらおう。家族にはきっちり説明をするということは続けていきたい。そして面談に参加する家族代表以外にも、身近な方、影響力のある方には事前に伝えて欲しい
- ・説明について、ドナーと同じことを家族に全て説明するのではなく、ドナーへの説明と、家族に理解して欲しいことに整理し、今後運用したい。家族に理解して欲しいことは、ドナーにどんなリスクがあるのか、最終同意後の撤回は患者へのリスクが大きいこと、採取前後のスケジュールが変更する可能性があることの3点。

ワーキンググループでの結論は次のとおり。

- ・家族の役割を整理し、家族の署名は廃止する。
- ・「ドナーに理解して欲しいこと」と「家族にも理解して欲しいこと」を今後明確にしていく。
- ・家族「同意」という言葉について、本当は「理解・了解」に変えたいが、現在の作成・配布済の資材との兼ね合いもあり、当面は家族同意という言葉をおののまま使用していく。

スケジュールについては、来週に東京弁護士会に説明をし、その上で関係者にアナウンスし、4月から家族署名を廃止したい。

家族署名を廃止するため、最終同意書も変更となる。改定案だが、今後本人の署名欄だけ残し、文体や不要な部分などもあわせて整理したので、こちらについてもご了解いただきたい。

主な点は、採取後にDLIの依頼が来る可能性があることを同意書に入れているが、DLIは依頼がドナーに届いた時点で改めて同意確認しており、最終同意書に入れておく必要はないため削除、署名欄については、家族の署名欄を削除し、「最終同意後に同意撤回すると、患者が適切な治療を受けられなくなる場合があること、特に患者の前処置開始以降は患者の命に関わる場合もあることを理解した上で、自発的な意思により骨髄提供することに同意します。」と変更したい。

PBの最終同意書については、健常人に対する G-CSF の長期安全性の科学的データ収集が終了しているため、削除。余剰分の凍結保存について、不要になった場合の取り扱いについて削除。

以上、家族の署名を不要にする件と、最終同意書の改定について審議願いたい。

審議の結果、第2号議案は全会一致で可決承認された。

## 9 報告事項の経過概要と結果(敬称略)

### (1) 寄付金報告 … 田中総務部長

12月度については、5368 万円の多額の寄付をいただいた。バンクニュースの発行があり多くの寄付の件数をいただいたこと、また大口の遺贈寄付や個人の方の大口寄付があったことなどから、このよう

に大きな金額となった。

**(2) 採取件数・患者登録数報告** … 田中総務部長

12月は、国内BM33件、PB32件、国際2件で、合計67件。

国内患者登録者数は、187人となっており、採取件数とともに昨年度より数十件ほど多い件数。

**(3) 調整医師新規申請・承認の報告** … 関移植調整部長

新規登録の調整医師が4名、異動・辞退24名、合計で1257名。

**(4) その他(提供ドナーさんの密着報道について)** … 水口広報渉外部長

2025年に提供ドナーの密着報道が2件あり。

1件は、横浜市内の区議会議員がドナーとなった骨髄提供について。テレビ神奈川で放送されYouTubeでもアーカイブが見ることができる。もう1件は、損害保険会社の広報担当の方が、持続型G-CSFを用いた末梢血幹細胞を提供したものの密着で、ニュース23で放映され、YouTubeでアーカイブを見ることができる。

実際に勤労世代がどのようにして提供しているのか、提供に向かった思いなどが端的にまとまっている。医療機関の協力のもと、普段見られない映像も出ている。病院内の方々に多大なご協力をいただいていることを報告する。

**(5) その他(トライアル3の開始について)** … 水口広報渉外部長

1月20日(火曜日)から、スワブでのドナー登録のトライアル3を実施する運びとなり、協力をお願いしたい。できる限り3月末までに3000人のスワブでのドナー登録を目指しており、所属組織におけるチラシ掲載や、SNSアカウントからの発信、当法人公式Xアカウント発信のリポスト、学生へのチラシ配布等、発信をいただけたらと思う。

(主な意見)

<岡本> スワブ登録は、どれくらい細かく数値をキャッチアップできるのか。

<水口> システムからマーケティング数値を出すことができる。進捗等報告できればと考えている。

以上